

ある日、実家に帰ると

1年ぶりの帰省。



久しぶりの帰省で
少し照れくさい・・・



笑顔で迎えてくれる両親。
元気そう。
でも、少しふけたかな？
当然、私もふけたか・・・



でも、元気な様子なので、
年をとったのは顔だけ？
かと思い少し安心。

んっ？
っ

廊下買い置きトイレペーパー、
ボックスティッシュ・・・
う～ん。年をとって片付けるのもしんどいのかな・・・



ちよっとトイレ
うおおおっ
トイレの壁が
ティッシュ
ペーパー！

そんな時・・・

片づけが進むまほうのコトバ

こんな言葉を聞いたことがある。

「家の異変は親の異変」

片付けられないは認知症の始まりとも・・・。
まずは、安心安全な部屋にしなければ。

実家の片付け3か条

1. 家の異変は親の異変
家の中の異変を見逃さない！
2. 床に物が直接置かれ始めたら片付け時
3. 迷ったら前へ進めない。
「保留箱」を用意し、判断をあえて先送り。

しかし問題が・・・

温厚な両親だが、頑固者。
片づけをはじめするには説得が必要だ！

- ×こんなに買ってもしょうがないでしょ。
- ◎足りなくなったら電話してね、すぐに送るよ。
- ×廊下にもものを置いたら転ぶでしょ？
- ◎この段ボールをどけたら停電してもトイレまで歩けるね。
- ×片付けてあげてるのに。
- ◎片付くと安心して生活できるね。